

歳時記
1

NHKテレビ取材!

ハイパーサーミアクリニック(ガン温熱療法)
近藤元治院長ヘインタビュー

NHK 番組「ルソンの壺」では「近畿のがんばる企業」を取り上げ、その発想や工夫に着目し放映しています。

今回、ハイパーサーミアクリニックで使用している温熱加温装置『サーモトロン』を全国で唯一製作している「山本ビニター社(大阪)」が取材対象になり、ハイパーサーミアクリニック院長にも取材依頼がきました。

この日は、当クリニックにて、装置の開発を依頼された 菅原 努先生(京都大学名誉教授)と、懸命に開発された山本五郎氏(山本ビニター社専務取締役)、ハイパーサーミアクリニック近藤 元治院長へのインタビュー、撮影が行われました(NHK 番組「ルソンの壺」にて放送予定)。

NHK 放送などの取材を通じ、副作用のほとんどない「ハイパーサーミア(ガン温熱療法)」を広く知っていただくことで、「ガン難民」といわれる多くの方々への一助となる事を願っております。



NHKの取材を受ける近藤院長

歳時記
2

より良い職場環境を 目指して

職員が明るく元気に働ける環境を整えるのも法人の大切な役割です。

年々職員数が増加する千春会では、春から、常勤医師はじめ看護師、コメディカル等の新入職が相次ぎ、施設・設備の拡充・改修などが検討され、この度、着工が決定しました。



工事関係者と共に無事を祈る
菊地理事長・糸井副院長

先頃、施設改修等の着手に際し、四方祓の儀が執り行われました。当法人理事長、副院長はじめとする関係者が工事の無事を祈り、職場環境のさらなる充実に向けて始動いたしました。

歳時記
3

つなぐ医療連携が「命」を守る 救急救命士就業前 研修(12日間)

千春会では、「救急救命士」の資格を取得された救急救命士の就業前病院研修を受け入れています。今回の研修は、明るい笑顔と前向きに学ぼうとする姿が印象的な前さん。



藤原院長から指導を受ける前さん



「症状観察のポイントや質問にも本当に親切にご説明いただき、勉強できる症例にも遭遇し、深く学ぶことができました。医師・看護師はじめ職員の皆さんが、ご家族様と関わりながら患者様のベストな状態を目指しておられる姿を毎日見せて頂き、とても温かい気持ちになりました。

救急救命士は短いのですが、この研修を通じて、『ご自宅に帰って頂ける事をイメージして100%出来る限りの業務にあたりたい』と思えました。」とのこと。

表紙には、コスモスに負けじと、新入職者数人の顔写真。秋の千春会は、華やかな笑顔にあふれています。あどけなさの残る彼らも、勤務中の顔つきがめっきり頼もしくなりました。秋の実りのように、謙虚に頭を垂れながら、他を満たす糧となる事を願って…。(弘)

編集後記

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千 春 会 病 院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615

2010年9月号 Vol. 20 (2010年9月1日発行)

せんしゅん

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

千春会
SENSHUNKAI

ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価(Ver.5)認定病院

発行責任者: 菊地 孝三



理 念 (3つの使命)

- 1 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
- 2 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
- 3 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

医療法人社団 千春会

着実に歩みを進める千春会

管理部 部長
岡田 芳明



瞬く間に猛暑の夏が過ぎ、夜半耳にする澄んだ「虫の音」に、はや秋の気配を感じるこの頃です。

千春会も、今年1月ハイパーサーミアクリニック開設から始まり、4月診療報酬改定への対応、6月「春風」地鎮祭、7月には訪問看護ステーション開設と、息つく間もないまま9月を迎えました。

その間、ハード面だけでなく、常勤医師2名の入職をはじめ、リハビリテーション科の拡充、コメディカル、管理栄養士増員に加え、介護職員あわせて30名強が新入職し、人員もさらに手厚くなりました。

また、新たに設けられる「臨床栄養師」資格取得のための長期間の研修参加や、医師、看護師、コメディカル、事務職員などの学会発表や各種勉強会・研修会への活発な参加等、スキルアップによるソフト面での充実にも力を注いでいます。

そのような動きの中、現在進行中の介護老人保健施設「春風（仮称）」は、工事の槌音を響かせながら急ピッチで進んでいます。度々「せんしゅん」でも取り上げてきましたが「春風」は、介護老人保健施設100床、ショートステイ20床、デイケア200名と、京都府下でも最大級の施設です。

「老健」本来の使命である在宅復帰をコンセプトにした「春風」は、利用者様の「在宅復帰支援施設」

として、在宅生活に必要なトレーニング等の提供のみならず、一日でも早くご自宅に帰っていただけるよう、利用者様やご家族様と共に、その実現を目指す場でもあります。

さらに「地域リハビリの中核拠点」として、施設内でのリハビリはもちろんのこと、在宅復帰後も安心してご自宅で暮らしていただけるよう、「訪問リハビリ」をはじめとする、さまざまな在宅支援の提供により、「身体能力」「生活の質（QOL）」の維持・継続に最善を尽くしてまいります。

千春会は、緊急時の入院に対応できる「千春会病院」をはじめ、在宅復帰支援施設である老健「春風」、終末期を含めた在宅での生活を提供する「特別養護老人ホーム わらく（京都府・和束町）」といった、後方支援施設も有しています。

加えて、訪問診療、訪問看護、訪問介護、通所事業所などの在宅療養支援拠点も併せ持った「地域に根ざした法人」として、これからも皆様に信頼され、必要とされ続けるよう、法人理念に則り「良質な医療・看護・介護の提供」と「住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する」事を目指し、着実に歩みを進めてまいります。

春風 ニュース

介護老人保健施設「春風」 全室個室 トイレ付

千春会と『一粒社ヴォーリズ建築事務所』は「法人理念に合致した設計」をと、これまでに入念な検討を重ね、全体設計が完成しました。『一粒社ヴォーリズ建築事務所』は建築家であり、キリスト教伝道者であったウィリアム・メレル・ヴォーリズの意思を継いだ建築活動で有名です。彼の建築は、学校・教会・住宅・デパート・ホテルなど多岐にわたり（明治学院大学、大丸百貨店（大阪・京都）、関西学院大学、同志社大学、山の上ホテル等）、多くの建築物が指定文化財として登録されており、今も人々に愛され、大切に保存されています。

この地に住まう皆様が、依り所としていただける施設を目指し、これから本格的に進めてまいります。

完成予想図公開



「建築物の品格は、人間の人格の如く、
その外観よりもむしろ内容にある。」
(ウィリアム・メレル・ヴォーリズ)

ご報告

さらに充実の医療 新任常勤ドクター 紹介

本年6月より、大阪教育大学名誉教授 朝井 均(ひとし)先生をお迎えしました。先生は、腹部超音波診断の第一人者であり、超音波医学の分野では、多くの著書・テキストの執筆を手掛けられるなど大変ご高名です。

また、大阪市立大学助教授、大阪教育大学教授として教鞭をとられ、後進の育成にも尽力されてこられました。

千春会では、そのご経歴を存分に活かしていただきたく、平成22年度開設予定の「介護老人保健施設 春風（仮称）」施設長として携わっていただく予定です。



あさい ひとし
内科：朝井 均

《プロフィール》

<略歴>

昭和44年
大阪市立大学 医学部卒業
昭和56年
大阪市立大学助教授
昭和59年
大阪教育大学教授
保健管理センター所長
平成20年
大阪教育大学名誉教授
「介護老人保健施設
サンスマイル北野」施設長

<資格>

医学博士
日本超音波医学会認定専門医・指導医
日本医師会認定産業医

外来担当日・受付時間

火・木曜 8：00～12：15
水曜 17：00～19：45

NEWS

ニュース

訪問看護ステーションへ移行

7月1日より、従来の「訪問看護事業」をさらに充実させるべく「千春会病院」内の「訪問看護事業所」を「訪問看護ステーション」へと移行いたしました。

ご挨拶

今日の高齢社会の中で、老・老介護が問題となりつつも、具体策はないまま各家庭に背負われ重荷になっています。私たちの携わる在宅看護は、医療者側と利用者様・家族様との信頼関係が構築された協働が重要であり、その中で、家族様を支えることは在宅医療の根幹に関わっていると考えます。

当ステーションでは、通院困難になった高齢者の方や障害のある方が、ご自宅で「自分らしく安心して」療養生活が送れるよう、24時間対応で訪問看護を行っています。

私たちは看護師として、理念の一つである「仕事に誇りと責任を持ち」を常とし、日々、医師やスタッフとの情報交換やカンファレンスを行い、「専門知識と技術の向上」を心がけております。

また、利用者様・ご家族様との関わりを大切に「自分らしく生きる」ことを真心でご支援させていただきます。

さらに、安全できめ細かい看護の提供と共に「利用者様やご家族様の声」にお応えできるよう、法人理念に則り「良質な医療と看護の提供」を目指してまいります。



すがおか
所長 松岡 則子



所在地：長岡京市開田2丁目12-3
TEL：(075) 958-6400
「居宅介護支援事業所 開田」と同じ所在地です。

24時間いつでも対応

TEL (075) 958-6400 お気軽にご連絡ください

昨年同様、とてもかわいい3名の高校生がやってきました。指導のお姉さんナースは、優しい語り口の佐野ナースと酒井ナース。まず、挨拶と院内見学を済ませ、ナースステーションへ。その後は、人工呼吸器を装着されている患者さんの病室で「部分清拭」を体験。「こんな力加減でいいですか？」心配そうに問いかけながら、緊張の面持ちで拭いていきます。

血圧や体温を測る「バイタルサインチェック」にも同行。病室や散歩で患者さんと会話する頃には、ようやく普段通りの笑顔がこぼれてきました。

昼食時には、指示に従って注入食を準備。食事介助ではお姉さんナースを見習って、優しく声かけしながら食事を勧めます。次に6階の浴室で入浴見学をしながら、浴室から病室への患者さまの入浴送迎を担当しました。

終了しての振り返り。「感想は?」「全部良かったです。」との満面の笑顔に、お姉さんナースも「ほっとしました」とにっこり。



Q：体験を終えて感想は？

A 高木さん：全部印象に残っていて、全てが良かったです。腹水を抜くなどの医療現場を見ることもできました。看護師志望でしたが、さらに看護師になりたい気持ちが強くなりました。

野田さん：ナースステーションが、テレビドラマの中みたいでした(笑)。初めて呼吸器を見て驚きました。緊張してなかなか患者さんに話しかけられませんでした。看護師さんと患者さんが嬉しそうに次々語っておられたのが印象的でした。

岩切さん：忙しそうにされている姿は、表には出ない部分で、大変そうでした。実際に患者さんに触れて緊張しました。志望は看護師だけではありませんでしたが、なりたい気持ちになりました。

Q：千春会病院の施設イメージは？

A 高木さん、野田さん、岩切さん：病院内は広くすごくきれいで、床までピカピカでした。車イスや寝たまま入れるお風呂の施設も整っていて驚きました。

Q：お姉さんナースはどうでしたか？

A 高木さん：親切でとても分かりやすかったです。

野田さん：常に患者さんに笑顔で話かけておられる姿がすごいです。

岩切さん：優しく、ひとつひとつ丁寧に教えてもらえて良かったです。



清拭体験



食事介助



お姉さんナースと一緒に

最後は、お姉さんナースと一緒に記念撮影。終わる頃には「ナースのユニフォームを着て帰りたい」の声も。とても似合っていた3人は患者さまやご家族さまに、本当のナースだと思われていたようです。

進路で悩んでいるとも聞きましたが、体験を通じて看護師さんの素晴らしさ、やりがいなどが、少しでも理解してもらおう事ができればと願っています。

「良質な介護の提供」を目指して

介護部 取材

デイサービス上植野の一日

朝 スタッフは、当日使用するレクリエーション用品や入浴のタオルなどを準備し、ミーティングで本日の注意事項などを確認。お迎え担当や湯茶準備のスタッフなど、分担された業務につきます。

利用者さん到着後は、席に誘導してお茶とおしぼりでホッと一息ついてもらいます。看護師を中心に健康状態のチェックを行い、スタッフは「おはようございます」の声かけなどで本日の様子を確認。その間も、療養手帳やご家族からの注意事項など確認します。



朝の体操

昼食

千春会病院の管理栄養士が、栄養管理する昼食が運び込まれ、配膳を開始。その間に皆さんの手指消毒を行い、食事介助が必要な方にはスタッ



食事介助



口腔ケア



入浴申し送り



帰宅誘導

勉強会



「いつも」「どの施設も」

「どのスタッフも」

朝のミーティング



準備



お迎え



お茶だし



昼食



療養手帳記入



看護師

午後

グループごとに分かれてリハビリ体操を行ったり、体重測定や入浴です。浴室では入浴担当者が午前担当者から報告を受け、午後担当者とのミーティングで、利用者さんの身体の様子(治療や薬の塗布など)を確認します。

おやつ

おやつ準備や療養手帳へ様子を記入したり、見えない作業も進めていきます。今日はお誕生日の利用者さんに手作りの「プレゼント」が「おめでとうございます」の拍手とともに渡されました。

帰宅

「帰宅」の荷物準備やトイレ誘導を済ませ、身支度ができた方から送迎車に向います。玄関でチェックの後、決まった車両へ案内してお見送り。

清掃後はミーティングで様々な情報を共有し、利用者さんの満足度アップにつなげます。この後も研修や打ち合わせなどで、利用者さんが安全に安心して過ごして頂けるよう、毎日スキルアップを図っています。